



# 萱中だより

《校訓》 礼儀・自主・勤労・協同

三笠市立萱野中学校

校長 小松 明美

三笠市萱野 192 番地 TEL 2-2308

発行：平成 28 年 11 月 30 日 < 8 号 >

## 『素直』な心を育むために

11月16日（水）の参観日には、多くの保護者が見守る中、全校生徒によるダンスの発表が開催されました。

今年も体育のダンス授業で、4回【8時間】を『ダンススタジオ・ネイティブ』のCHIHIRO先生を中心に、AMANDA先生・TAKARA先生・SUZAKI先生のご指導の下、まとまり&迫力のあるダンスの発表を見せてくれました。継続して指導を受けてきた3年生は、お手本になるように下級生をリードし、全校生徒で一つの素晴らしい作品に仕上げてくださいました。



【最後の決めポーズ! ?】

毎回、授業の最後には、生徒と年齢が近い講師の先生方から、大好きなダンスを通して「自分の好きなことだから頑張れる」「自分の夢を見つけて努力すること」の大切さなどを話してくださいました。

最後の日、二人の先生方が帰る時には、校長室から玄関までの廊下を全校生徒でアーチを作って見送ってくださいました。そんな18人の心がとても素敵でした。

また、前日には、三笠市教育委員会がキャリア教育の一環として行っている『先輩から学ぼう』事業が、市内小学6年生～中学校3年生までの児童・生徒を対象に開催されました。



【佐々木氏は193cmの身長】

今年度は、三笠小・中学校の卒業生であり、現在は東海大学付属札幌高等学校教諭でバスケットボール部の監督をされている佐々木睦己氏が「バスケットボールと私～バスケットボールを通じて学んだこと～私のしくじり体験」というテーマで講演していただきました。

講演の最後に【素直】な心が大切と話してくださいました。同じ指導や助言を受けても受けとめる側に【素直】な心がないと身につかないこと。萱中生は、返事もできるし、言われたとき

にはしっかり最後までやることができます。でも、学んだ事や体験した事がなかなか継続する事ができていないのも事実です。言われた時・体験した時、その時だけ上手に出来ても、それを「継続」しなければ『自分の力』にはならないのです。学校ではこれからも下のことを継続して【素直】な心を育て参ります。ご家庭においても、ご理解の上、ご協力を宜しくお願いいたします。

参観日の全体懇談会の中でもお話ししましたが、第二次性徴のまっただ中、いわゆる思春期の中学生。『メタ認知』で自分をしっかり受けとめ、周囲の大人に困った時や悩んだ時に【素直】な心（気持ち）を言える人間関係を、学校でも家庭でも作って行きたいと考えます。

★お子さんの事で悩んだり、困ったりしている時には、いつでもご相談ください。

- (1) 挨拶や返事がしっかりできる生徒
- (2) 他の人を思いやれる生徒
- (3) 整理・整頓ができる生徒

# 祝 表彰の嵐

# 12月 December

夏祭り 屋台をまわって 楽しんで 帰る時には 寂しさが増す 一年 さん	向上心 未来のための エンジンだ 二年 さん	入浴剤 風呂に入れたら 花畑 三年 さん	料理して 母とのきずな 強くなる 一年 さん
--	---------------------------	-------------------------	---------------------------

さん

北海道  
 学び推進月間標語  
 空知教育局優秀賞  
 誰のためでもなく、自分の「未来」のための「向上心」素晴らしい。  
 おめでとう！

さん・ さん

「キッチン・バスの日」記念  
 第 12 回  
 「台所・お風呂の川柳」  
 優秀作品  
 この川柳を詠むとココロが「ほっこり」します。  
 おめでとう！

さん

第 11 回北海道小・中・高生短歌コンテスト  
 応募作品 4,363 首の中から 2 次審査を通過した 366 首に選ばれました。  
 (計算すると…約 8%) おめでとう！

11 月 8 日 (火)、三笠警察署から講師を迎え、「交通安全教室」「薬物乱用防止教室」を開催しました。最近、急激に増えている自転車事故や冬道の交通安全について、お話をいただきました。また、「危険ドラッグ」の恐ろしさなど薬物乱用防止についてのお話もしていただきました。

あまり関係ないと思いがちな薬物ですが、講師の方の経験談の中で、中学生が関わった事件など全国的に低年齢化の傾向が危惧される中、静かに忍び寄る薬物の恐ろしさに意識を改めることができました。

日	曜	学校行事	日課	給食	相談
1	木	委員会 3年入試模擬テスト	会議	○	
2	金			○	午後
3	土				
4	日				
5	月	学習会 (①理②英③国)	学習会	○	
6	火	避難訓練 (不審者 放課後)		○	
7	水	3年生三者懇談会①		○	
8	木	3年生三者懇談会②・三笠市仲間づくり子ども会議		○	
9	金	2年生地域科発表		○	
10	土				
11	日				
12	月	学習会 (①社②数③理)	学習会	○	
13	火	AED講習会 (3・4h)・2年生総合 (岩見沢駅へ)		○	
14	水	小中合同音楽		○	
15	木	定例職員会議	会議	○	
16	金	校内研修	会議	○	
17	土				
18	日				
19	月	学習会 (①英②国③社)	学習会	○	午後
20	火			○	
21	水	年度末反省会議①	会議	○	
22	木	2学期終業式・大掃除・年度末反省会議②	会議	○	
23	金	天皇誕生日 冬季休業 (～1/16まで)			
24	土				
25	日				
26	月				
27	火				
28	水				
29	木	(学校閉鎖)			
30	金	(学校閉鎖)			
31	土	(学校閉鎖)			



# 授業改善に向けて



11月22日(火)に萱野中職員研修の一環として、北海道教育庁空知教育局より指導主事を迎え、「これから求められる授業」の視点でアドバイスをいただきました。

2年生数学の授業を職員、指導主事で参観。二等辺三角形を様々な方法で描いた後、「二等辺三角形になるための条件を証明する」という流れの授業でした。



コンパスを上手に使いながら、生徒は皆、主体的に考え、常に脳ミソ&手が活発に動いていて楽しく、授業内容を理解した様子。滝沢先生は電子黒板を使って、分かりやすく授業を展開していました。

こうした「脳ミソが活発に動く授業」を通じて「分かった」「できた」と実感できる授業が大切になります。

生徒が自らの人生を主体的に切り拓いていくために求められる資質・能力

- ①何を知っているか、何ができるか  
【知識・技能】
- ②知っている事・できる事をどう使うか  
【思考力・判断力・表現力等】
- ③どのように社会・世界と関わり、  
よりよい人生を送るか  
【学びに向かう力・人間性等】

## < 校内の課題 >

- ①「見通す・振り返る」学習活動の質的向上
  - ・授業の冒頭で目標（ねらい・めあて）を示す。
  - ・授業の最後に振り返る活動を位置付ける。
- ②主体的・対話的で深い学びの実現
  - ・「どのように学ぶのか」について検討

## 受検はチーム戦！～進路実現に向けて～



面接練習に  
真剣に取り組む  
3年生！

先生に分かるまで  
質問する3年生！

以前、3年生の学級通信に「受検はチーム戦」という言葉がありました。受験勉強は孤独だし、受検を目の前にすると不安になるもの。そんな時に互いに支え合い、励まし合って、ゴールに向かって頑張りたい、そんな願いから生まれた言葉ではないかと思います。

1・2年生は3年生のがんばりを近くで見ているはず。3年生全員が、希望する進路を実現するように、1・2年生も応援したいものです。全校生徒で「ゴールに向かって頑張る」雰囲気を作りましょう！



# 空知仲間づくりキャラバン in 深川

どんな理由であれ **絶対許されない!**  
**STOP!**  
**いじめ**



参加した 書記長

空知仲間づくりキャラバン



参加した三笠市の仲間と

19日(土)に「空知仲間づくりキャラバン」が深川市で開催されました。

10月に会長の さんが参加した「どさんこ☆子ども全道サミット(空知地区)」を受けて、各校での取組を交流し、互いの参考にするために行われた今回の仲間づくりキャラバン。いじめのない明るい学校づくりに向けて、全道の学校で様々な取組が行われている事を知る良い機会となりました。萱野中から参加した生徒会書記長の さんは、生徒会の取組を立派に発表しました。このあと、12月8日(木)には、さらにこれを受けて三笠市でも「仲間づくり子ども会議」が萱野中学校を会場に開催されます。

## 「早寝早起き朝ごはん」運動 ～朝食をとらずに登校する子をゼロに～



北海道教育委員会では、子どもたちがはつらつとした毎日を送ることができるように、「朝食をとらずに登校する子をゼロに」を目標に掲げ、学校・家庭・地域と連携した「早寝早起き朝ごはん」運動を展開し、子どもの生活リズムの向上に取り組んでいます。

＝「早寝早起き朝ごはん」運動 啓発強化期間について＝

7月～8月及び12月～1月は、子どもたちの生活リズムの向上を目的とした「早寝早起き朝ごはん」運動啓発強化期間です。夏休み・冬休み中は生活リズムが乱れがちです。子どもたちの健全育成を図る道民運動として、家庭や学校・地域において、「早寝早起き朝ごはん」運動に取り組みましょう。

## 北海道 心の教育推進キャンペーン ～HEARTFULL CAMPAIGN～



生命を大切に、他人を思いやる心、美しいものや自然に感動する心などの「豊かな心」をはぐくむとともに、子どもたちに豊かな人間性や社会性などの「生きる力」を育てるためには、学校、家庭、地域社会が一体となって心の教育に取り組むことが重要です。

「北海道心の教育推進会議」では、心の教育に取り組む施策の柱として「心の教育施策推進のテーマ」を設定し、心の教育の重要性を広く皆様に周知するため、「心の教育推進キャンペーン」などの啓発事業に取り組んでいます。

早ね早おき朝ごはん早ね早おき朝ごはん早ね早おき朝ごはん早ね早おき朝ごはん早ね早おき朝ごはん